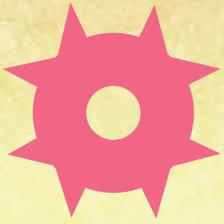


いかわ



# 議会 だより

No. 157

2024. 1. 1

新年号



義務教育学校5年生（辰・12才）

# 12月議会

（会期・12月5日～8日）



辰

年頭のあいさつ .....	2
第4回定例会 .....	3
常任委員会 .....	4
一般質問 .....	5
全員協議会・陳情・広報検討会・ふるさと井川会 ..	9
各議員大会・全国広報研修会・表彰 .....	10
現地調査・議長全国大会 .....	11
私のひとこと・議会のうごき .....	12

# 議長年頭あいさつ



井川町議会 議長

遠藤 政勝

新年おめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より議会に対しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は7月の記録的な大雨被害、そして夏の猛暑などの影響により一等米比率の落ち込みと肥料や燃料等の高騰は、農家にとっては大打撃となっています。また、秋のクマの里山への出没など大変な1年でした。11月の全国町村議会議長大会で国と県出身の国会議員の方々には、早期復旧の支援と農家が安心して経営できるように、対策を強く要望しております。

さて議会については、令和5年5月に地方自治法が改正され、議会の位置付け及び議員の職務等の明確化が示され、議会は法律の定めるところにより町には議事機関とし選挙した議員で組織した議会を置く。また、町の重要な意思決定に関する事件を議決し、並びに検査及び調査その他の権限を行使することがその内容です。このことは民主主義の根幹を担う議会制度の趣旨を明確に示しています。

議会では2年間にわたり議会基本条例を検討・制定し、自由闊達な討議を重ねています。18年ぶりに議員定数と報酬について特別委員会を設置し、定数は1人減に、報酬は特別職報酬審議会の答申に基づく内容となります。

なお、1月16日告示、1月21日投票の議員選挙が行われ、新しい体制で議会が運営されます。

結びに、新しい1年が穏やかで災害のない、そして皆様にとって幸多き年でありますように心からご祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。



町民皆様のご健勝と

ご多幸をお祈りします

今年もよろしく

お願いいたします

議長 遠藤 政勝

副議長 浅野 義幸

議員 高橋 剛

” 松田 弘咲

” 伊藤 俊郎

” 石井 茂

” 三浦 晃

” 佐々木 昌子

” 鷺谷 清利

” 草階 廣治

” 三浦 成利

(議席順)

事務局長 鷺谷 康之

# 議員報酬決まる 月額 212,000円 → 235,000円へ 18年前と同額に

第4回定例会は5日～8日の会期で開かれ、条例改正等・一般会計及び特別会計・水道会計の補正予算等11件を原案どおり可決。また陳情4件を採択とし、それぞれ関係機関に意見書を提出することにした。令和5年度一般会計補正予算は2億4538万円を追加し、37億5758万円とした。今回最大の焦点となったのは議員報酬について。反対と賛成の討論が交わされたが、賛成9名、反対1名（欠員1名、議長除く）で可決。2万3千円増の23万5千円となった。これは18年前の減額前と同額である。

## 反対討論

なぜ今、定数と報酬を議論しているのか。そこには、3期連続の町議選無投票をどう考えるか。行政改革と議会改革の違い。「副業として」「ボランティアとして」は、議員の責務を果たせるのか。町財政の推移と現状は。多様な住民の思いをどう吸い上げるかなど8件の論点がありました。私たちはこれにのっとり真剣にかつ冷静に議論してきました。

しかし、町の提案は、これらを概ね否定したものと思わざるを得ません。

私は特別委員会で決定した額に達していないから反対というわけではありません。議員報酬を変えるには、それ相応の理念が必要だと思えます。その理念が概ね否定されたのであれば、上げる必要はないと考えます。よって議員報酬は現状を維持し、町民の理解と支持を得るべく活動を継続することこそが重要ではないかと考えます。

## 賛成討論

町民との意見交換会を行った結果「議会活動がよく見えない」などの意見が際立ったような感じがします。

そこで私は、議会活動が見える努力をする必要があると感じました。子どもたちが町に興味を持ってもらうために「子ども議会」を開催する。

女性の皆さんや一般の方にも模擬一般質問してもらい、政治に興味を持つてもらおう。

また、毎年町民との意見交換会を開催して、町民が現在何を考えているか、どのような要望があるかも把握する必要があると思えます。

さらには、定例議会や常任委員会を積極的に傍聴してもらおう、などの様々な活動を行うことによって、町民に議会活動を理解してもらおう努力をする必要があると思えます。

以上の事から、私は報酬等審議会の提言を真摯に受け止め、条例改正案に賛成致します。

## 工藤久兵衛 議員 逝去

(享年86歳)



去る10月27日御逝去されました故工藤久兵衛議員の御霊に謹んで哀悼の誠をささげます。

あなたには、温厚篤実にして見識高く、責任と情熱をもって忍耐強く事に当たることを常とし、その力量は高く評価されています。

平成3年の補欠選挙で見事当選を果たし、その後9期33年間にわたり、円滑な議会運営と町政の進展に日夜奔走されました。

この間、議会運営委員長を5期、副議長を1期、井川町・潟上市共有財産管理組合議員を5期、湖東地区行政一部事務組合議員を3期、また、井川町土地改良区理事長、秋田県土地改良事業団体連合会副会長などの要職を長く務められました。実直なお人柄をもって遺憾なくその手腕を振るい、縦横無尽の活躍をされたことは、全町民の誰もが知るところであります。

この輝かしいご功績に対し、町の功労賞、国の自治功労表彰、今年5月には秋田県町村議会議長会より榮譽ある自治功労者特別表彰を受けられました。

このうえは、町政発展に献身されたあなたの業績と尊い信念をお手本に、及ばずながら私どもも努力を重ねて参りたいと思えます。

今はただ心から御霊のご冥福をお祈りいたします。

追悼のことはより抜粋

# 職員提案制度 意識改革につながるか

### 総務課

#### 職員提案制度を 議論

**問** 職員の意識改革や意欲を増すための試みと思いが、提案が34件と少ない感じがするがどうか。

**答** 今年の10月1日からの試みで募集期間も短かった。複数を提案した職員もいる。年齢層は20

代から40代となっている。提案時期は6月、10月、2月の年3回となっている。

審査会は副町長を会長とし、教育長、各課長から構成されている。ただし、管理職には提案権はない。

**問** この制度は事務改善の提案なのか、まちづくり提案なのか。また、自身が担当している以外の業務が出てき

たときに職員はこなせるのか。

町長がトップダウンで採用した業務を職員に命じてしまっただけではうまくいかない。

実際に運用するやり方も考えているのか。

**答** 事務改善やまちづくりの提案も含まれる。自身の職務に関する提案も出てきたが、これは予算要求すべきことであり除外した。

素晴らしい提案であれば、どこの課が担当すべきか、プロジェクトチームを発足して継続して検討することも考えたい。

**問** 普通は自分の仕事に関する提案から出てくるものであるのに、それを除外することは優秀な提案が埋没する。

**答** スタートなので状況を見ながら改善していく。

### 税務会計課

**問** 公用車の冬用タイヤなどの点検は担当課で行っているのか。車検切れ等の防止のため財産管

理部署である税務会計課で一元管理できないか。

**答** 車検に関しては総務課で一覧表を作成し、各課に伝えて各課で予算要求している。タイヤの交換に関しても各課で管理している。

今後、財産管理部署で一元管理するよう検討する。

### 産業課

**問** 農業・漁業経営フォローアップ資金利子補助費補助金の詳細について伺う。

**答** 7月14日の大雨と夏季の高温の影響で被害に遭われた個人及び法人が対象で、限度額は個人が500万円、法人が1,500万円となっている。借入期間は10年となる。

貸付期限は令和6年3月31日までとなっている。

### 健康福祉課

**問** 母子健康衛生費補助金返還金について、実績

に係る点検期間はいつから5年遡ったものか。

### 町民生活課

**問** 第1分団のポンプ車が新しくなるが、既存のポンプ車はどうするのか。

**答** 今後、売却できるものか、廃棄するかは現在検討中である。

### 教育委員会

**問** 給食用配膳台がぶつかって壁が剥がれるとのことだが、壁側ではなく台の方に保護材を付ける考えはないか。

**答** 検討はしたが、配膳台に保護材を付けたら細菌が溜まりやすくなるので意見もあり、壁側への設置が現実的であると判断した。



職員の全庁的発想が期待される提案制度  
(令和5年10月1日スタート)

# 3 人の議員が町政を質す

## 町政のここが聞きたい

定例会初日（12月5日）に一般質問が行われ、3人の議員が登壇した。  
（質問順に掲載）

P6	高橋 剛 議員（一問一答方式）
	1 一般質問のその後について
P7	佐々木 昌子 議員（一括質問一括答弁方式）
	1 防災について 2 井川町無料巡回バスについて
P8	鷺谷 清利 議員（一問一答方式）
	1 上水道施設更新に係る費用負担と水道料金について 2 任期中を総括して問う

白抜きの数字は掲載された質問です。紙面の都合により掲載できなかった質問など詳細は議事録で見ることができます。

議会事務局にお問い合わせ下さい。

### ◆ 一般質問とは ◆

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものである。

質問する議員も、受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制を採用し、事前に質問内容を通告することになっている。

井川町では、質問時間は一人につき30分以内で完了することとされている。

質問方式は一括質問一括答弁方式と一問一答方式の選択制となっている。一括質問一括答弁方式は再々質問までとされている。

# 一般質問

## 旧小学校・国花苑整備は 計画は今年度中に立てる



たかはし 剛  
議員

**高橋** 私がこれまでに一般質問などで質問させて頂いた中から、その後どうなったのか、再度確認したい。

### 旧小学校について

「一部を残して解体」という結論に達していたが、その後の進捗状況は。

**町長** 国花苑の利用計画というようなことで、現状としては計画を作っている段階。解体工事が始まるのは早くとも令和7年度以降。

**高橋** 明確な計画はいつまでに作るのか。

**町長** 今年度内に計画を立てる予定。

### 国花苑整備について

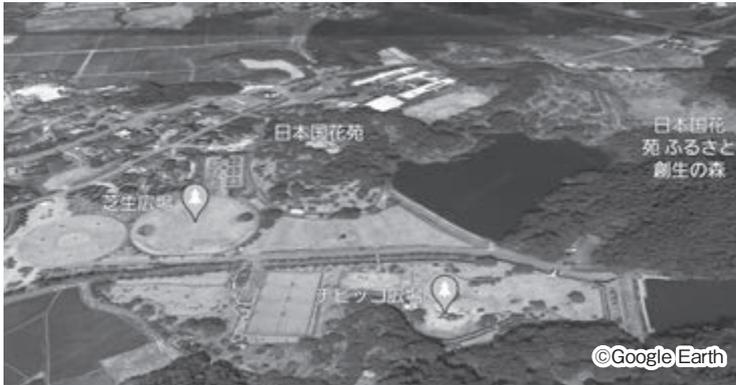
**高橋** 宿泊施設の建設を考えているとの答弁だったが、いつまでにどのような整備をするのか。

**町長** 今年度の予算で作っている設計デザインなどは今年度に完成する。次年度以降の計画は、整備計画と合わせて検討を進める。

**高橋** 旧小学校解体と国花苑の整備はどのように連携するか。

**町長** 両方全てを含めて、エリアごとに何をするかという全体計画を作っていく。

旧小学校と連携開発する予定の国花苑



### 地域おこし協力隊について

**高橋** 現段階で、どのような指示を出しているか。

**町長** 町に慣れるという面も含めて、担当職員と事業者の訪問活動を行っているほか、来年度に向けた国花苑のキャンプ場に関する提案、イベント企画の計画に取り組んでいる。



地域おこし協力隊 橋野 一勝氏

### 粗大ごみのネット販売について

**高橋** 仙北市では「仙北市メルカリShop」を開設し、不用品等を「メルカリ」などで販売しているが。

**町長** 当町として行う考えはない。循環型社会の実現に向けての取り組みとしては理解できるが、我々の規模でそういった取り組みをすると、不用品の管理はどうするか、売れなかった場合の処分はどうするか。

かなどの問題があり、現実的ではない。

**高橋** 保管場所というところであれば、歯科センターの利用はできないのか。

**町長** 保管場所だけでなく、送料、処分費用、人件費、そういったものを考えるとやはり我々の規模では難しい。業務の時間や費用を考えると、事業をやるだけだと赤字になる。そういうことを考えたうえでやらないと判断した。

## 一般質問

# 防災の認識と意識を

## リーダー育成で活動



ささきしよこ  
佐々木昌子  
議員

**佐々木** 7月の豪雨で避難所を設置したが、避難活動を終えての反省点や課題はなかったか。

**町長** 避難所の移動とか運営について大きな反省点や課題はなく、スムーズな運営ができたと思う。ただ、避難所の開閉時間、避難者の入退時間の記録を細かくとっておくべきとの反省点はある。次回に活かしていきたい。

**佐々木** 今後最悪な状況に遭遇し、長期間に及んだり広範囲にわたった時の対応はどうか。非常用物品のチェックはどうか。また住民一人一人

に防災を意識してもらうために、町として働きかけている事や体験のための企画等、考えはあるか。

**町長** 防災計画上の公的備蓄については、19品目を県と町の共同備蓄として、83人分の一週間程度を準備している。防災意識の向上については、各町内に自主防災組織を設立。避難訓練等々活動を一年に一回必ず実施してほしいし、その費用の支援もしていきたいのが、実現されていないのが実情。自主防災組織の活動を一生懸命やってもらう事が、防災への認識・意識の高まりに繋がるものと考えている。自主防災組織育成指導者研修会などを企画しながらリーダーの育成をし、その上で自主防災組織の活動が広がるよう支援をしていきたい。町内会長を通じて、職員と一緒に取り組むような話をしている。

再三取り上げるものが、無料巡回バスのダイヤ変更はできないものか。4月の変更から7カ月経過したが、「何とかして欲しい」の声は絶えない。湖東厚生病院利用の時間帯だけでも見直せないか。「待っているバスは来ない」「この後のバスはない」この違いを考えると心が痛む。



講習で紹介された防災グッズ

## 湖東病院からの バス時間変更を

### 病院との連携で対応

**佐々木** 再三取り上げるものが、無料巡回バスのダイヤ変更はできないものか。4月の変更から7カ月経過したが、「何とかして欲しい」の声は絶えない。湖東厚生病院利用の時間帯だけでも見直せないか。「待っているバスは来ない」「この後のバスはない」この違いを考えると心が痛む。

**町長** 現状のダイヤ変更は難しい。多受診の方が特に問題になっていると思われる。バスに間に合うように受診を何とかしてほしいという話があれば、病院も対応したいという話も聞いている。バスの時間を変えることだけでなく、湖東病院と連携しながら対応を考えていければと思う。

**佐々木** 湖東病院の方の対応は、利用者の方に周知されているか。

**町長** 特段周知はしていない。基本的には今の時間帯でほとんどの方が乗れている。多受診の方が、自らなんとか早くしてほしいと要望を伝える努力も必要。湖東病院に対して町としてもお願いしている。バスに乗れない具体的な理由があれば知らせていただきたい。

# 一般質問

## 老朽化した水道ろ過池の計画は

### 令和6年度に更新計画を策定



わしや 鷺谷 清利 議員



老朽化が心配される水道ろ過池

**鷺谷** 本町のろ過池も建設から50年以上が経過してコンクリートの耐用年数を超えて、漏水等が懸念されるが、今後の計画はあるか。

**町長** 本町では令和6年度に施設更新計画を策定し、令和7年度に経営戦略を完了する予定である。

**事業費の一部を公費負担できないか**  
事業費を算出してから戦略を練る

**鷺谷** 公共用として消火栓、公園広場の給水栓などがあるので公費負担も考えるべきである。

**町長** 公営企業は独立採算制であるので、

賄えない場合は料金値上げが原則であるが、これから計画を立て、事業費を算出して戦略を練る。

**水道料金の値上げはあるか**  
料金値上げの許容範囲を考慮する

**鷺谷** さらに公費負担割合によっては、水道料金にも影響しかなない。

水道料金の値上げとなると、地域住民から反発が予想される。現在の料金体系を維持できるのか。

**町長** 事業費を算出して、負担割合を決め、利用者の料金値上げの許容範囲を考慮して決定することになる。

**街灯管理を町に移管できないか**  
電気料のみ負担願いたい

**鷺谷** 人口減少が進む中で町民一人当たりの負担も大きくなり、大きな痛みとなる。

街灯管理一切を町に移管できないか。



電気料が町内会負担の街灯

**町長** 今後は灯具の交換費は町で負担することになっている。LED化により、電気料も削減されると思うのでご理解願いたい。

**町長** 国花苑に語らい可能な建物を提案を受け止める

**鷺谷** 国花苑を散策して休憩する場所、町民がテーブル・椅子で気軽に語り合える場所・安らぐ場所がなければ、魅力あるエリアにはならないと思うがどうか。

**町長** テーブルと椅子がある休憩スペースは当然あって然るべきと

**適切な時期の町道の草刈を**  
草刈箇所の一報があれば対応する

**鷺谷** 具体的に路肩の雑草が伸び放題で道路にはみ出してきている箇所があり、車の走行にも支障をきたしているの、適切な時期に実施して頂きたい。

**産業課長** 草刈予算は確保しているの、交通に支障をきたす箇所があれば、産業課にご一報願いたい。

# 陳情

5件の陳情が出され、4件は全員一致採択とし、関係機関に意見書を提出した。1件は賛成5人、反対5人となり、議長裁決により不採択とした。

## 採択

◆安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善について国に意見書提出を求める陳情

◆国民のいのちと健康を守るため、政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情

◆健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情

◆秋田県に対して「子供の医療費助成を中学から高校卒業まで引き上げること」を求める意見書提出の陳情

## 不採択

◆辺野古新基地建設の断念と日米地位協定の改定、及び安全保障による米軍基地が必要であるならば全国で平等に負担するよう求める意見書の提出に関する陳情

## 親しみやすい紙面へ

10月31日、議会だより編集方針検討会を開催した。町民に親しまれ、読みやすい「議会だより」にするためにはどうしたらよいか、編集委員全員で協議した。

### 協議案件

- 文字数は1ページ900字以内に
- 町民の意見・顔写真を入れる
- 追跡記事の採用
- 編集後記は150字以内
- 次号の記事内容を、最終校正時に決定
- QRコードの活用
- 一部事務組合の活動を紹介
- タイトルにインパクトを など

## 全員協議会

第6回	第7回	第8回
9月14日	11月7日	11月27日

開催

### ★第6回

・議員発議(案)について  
議員定数削減に係る4件の条例改正など

・公印省略について  
・議員報酬について  
・その他

職員不祥事による町長・副町長の減給案について

### ★第7回

・議員報酬について  
・その他  
クマ対策

### ★第8回

・第4回定例会提出議案について  
・議員報酬について



首都圏ふるさと井川会

## ふるさと井川会10名参加

11月11日、東京都新宿区の日本青年館において「首都圏ふるさと井川会」が開催された。来賓や町議員、首都圏在住の学生3名など計72名が参加した。

議会からは10名が参加し、多くの人と懇親を深めた。

令和5年度

# 秋田県町村議会 議員研修会



## 目的

議会の活性化及び議員の資質向上を図り、議会の円滑な運営に資する。

## 開催日時

9月26日 午後1時30分～

## 開催場所

秋田県市町村会館

## 参加議員

11名

## 講演

13時40分～15時

・演題 「議員のなり手不足と議員報酬」

・講師 新潟県立大学 国際地域学部

国際地域学科 准教授 田口 一博氏

15時10分～16時30分

・演題 「地域の未来は自分たちで創る！  
～限界集落からの挑戦～」

・講師 特定非営利活動法人 地域おこし

代表理事 多田 朋孔氏

## 表彰

### 南秋田郡町村議会議長連絡協議会 自治功労者表彰



伊藤 俊郎 議員

10月26日、南秋田郡町村議会議長連絡協議会より、多年にわたり地域の振興発展に尽力された功績により、本町議会から伊藤議員が表彰されました。

令和5年度

## 全国町村議会広報研修会

### 目的

議会活動に対する住民の関心と理解を深めることが求められている状況に鑑み、町村議会広報編集委員等を対象にした研修の場を設け、議会広報の発展に資する。

### 開催日時

令和5年9月27日 (13:00～17:00)

### 開催場所

東京都「日経ホール」千代田区大手町

### 参加議員

議会だより編集委員2名  
(鷲谷 清利 佐々木昌子)

### 研修テーマ

「広報担当者が知っておきたい法律知識」  
講師 弁護士 玉置菜々子氏  
「広報紙づくりのポイント」  
講師 メディアプランナー 白木 一誠氏  
「デザインの力で、もっと伝わる議会広報紙に」  
講師 グラフィックデザイナー 平本久美子氏

令和5年度

## 南秋田郡町村議会議員大会

10月26日午後2時より五城目町五城館で南秋田郡町村議会議員大会が開催され、5項目の大会決議が満場一致で採択された。また、「秋田県経済の現状と課題」について講演が行われ、今後の秋田県の可能性を強く感じられた。

## 講演

14時30分～16時

・演題 「秋田県経済の現状と課題」

・講師

一般財団法人秋田経済研究所 専務理事  
所長 相原 学氏

# 町村議会議長 全国大会



全国の町村議会の総意を結集し、我々町村議会議員が一貫して築き上げてきた地方自治の精神と原則に立ち、住民自治に基づく個性と活力に満ちた町村の実現を期するため、全国926町村の議長が参加して、11月29日、NHKホールを会場に開催された。当日は特別決議の他に、議会の機能強化及び多様な人材が参画する環境整備の要望のほか各分野の施策推進など27項目と全国の地区要望9項目も要望、各国会議員にも要望した。

## 特別決議

- 少子化対策の推進とともに、子育て政策の強化を求める特別決議
- 農業・農村対策の一体的な推進による食料安全保障の確立を求める特別決議
- 東日本大震災からの復旧、原子力発電所事故への対応及び大規模災害対策の確立等を求める決議

# 秋田県関係国会議員 への要望

秋田県町村議会議長会

令和5年11月28日、町村議会議長全国大会に合わせて県関係国会議員との懇談会において、当日の全国大会の要望書と合わせて左記について直接要望した。

- ◆ 令和5年7月の記録的な豪雨による中央、東北地域の甚大な被害に対する早期復旧支援。
  - ◆ 夏の記録的な猛暑などの影響による「一等米」比率の落ち込みと肥料や燃料代の高騰による収入減は大打撃であり、安心して経営できるための支援。
  - ◆ 秋のクマの里への出没は「いつでも」「どこでも」「誰でも」クマに遭遇すると県では注意喚起しておりますが、住民生活に混乱を生じさせることのないよう国からもクマ対策をお願いしたい。
  - ◆ 令和6年度税制改正に関する重点要望
- 1、固定資産税の安定的確保**  
固定資産税は、市町村の行政サービスとの受益関係に着目して課税される基本税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと、また、税収が安定的に確保できるようにすること。
  - 2、森林環境譲与税の譲与基準の見直し**  
森林環境譲与税の譲与基準については、対象となる森林や森林面積割合の見直しを検討すること。
  - 3、自動車関係諸税の見直し**  
自動車関係諸税の見直しに当たっては、電動車の比重が大きくなる中で、地方税収の安定的確保を前提としつつ、地方の移動手段として不可欠な自動車の利用実態を考慮すること。

## 現地調査箇所と 交換意見

11月20日、議員による現地調査と意見交換会が行われた。

## 町への提言

- 一、町道大野地赤沢線  
下刈り等は単年度実施ではなく、複数年度の実施が効果的。県補助のみではなく、町有地での町単独事業も実施すべき。
  - 二、栗栽培地（赤沢）  
育ちのばらつきが気になる。モデルケースの場所として管理徹底を。
  - 三、河川災害（井川地区）  
災害場所により対応にばらつきがある。補助事業に該当させるため、対応が遅れるが、緊急箇所を早期対応を願う。
  - 四、水道施設関係災害（水道施設脇の地滑り、五秋線林坂橋付近の導水管、田代沢取水口）  
地滑り部分が私有地でも、町で対策を実施するのか。導水管を林坂橋の下流に移動すれば今後の被害減少になるのでは。田代沢取水口の管理に抜本的な対策を。取水口までの田代沢林道が崩れている部分が多く、補修が必要。
- 一、県補助事業のみではなく、町単独事業として実施を検討してもらいたい。クマの緩衝地帯については他の場所も含めた検討を。
  - 二、特産品として長期的なビジョンをしっかりとし、事業を進めてほしい。
  - 三、災害発生の早期確認と、全体を把握できる体制づくりを願う。補助事業は事業採択の進め方に落ちがないように。
  - 四、五秋線林坂橋付近の導水管については、今後の災害を想定し総合的に対策を検討してほしい。田代沢林道の早期補修を望む。

## 町内現地視察及び意見交換会



被災した田代沢地区導水管

私の



繋がりを大切に

潟上南秋田陸上競技協会

渡部 和 朝

(新聞町内)

「第10回市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！」が、人口減や少子高齢化の影響もあり、令和5年の本大会をもって休止することとなりました。本町においても、この2年間はオープン参加となり、襷をつなぐことは叶いませんでしたが、参加した選手は、町の代表としての誇りを持ち、全力で走り抜きました。この10年間、大会への参加を後押ししてくださった議会や行政の方々、そして町民の皆様温かい応援に深く感謝します。

「第10回市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！」が、人口減や少子高齢化の影響もあり、令和5年の本大会をもって休止することとなりました。本町においても、この2年間はオープン参加となり、襷をつなぐことは叶いませんでしたが、参加した選手は、町の代表としての誇りを持ち、全力で走り抜きました。この10年間、大会への参加を後押ししてくださった議会や行政の方々、そして町民の皆様温かい応援に深く感謝します。

展を遂げてきた由緒あるスポーツです。任された各区间を自身に課せられた責任やプレッシャーと戦いながら走り、チーム全員が丸となって、魂ともいえるべき「襷」を懸命に繋ぐのです。このことは、今を生きる私たちの責務として、「先人から受け継いできた『ふるさと井川』の襷を、しっかりと次世代へ引き継ぐ」とに例えられるのではないのでしょうか。

これからも、全世代の「繋がりを大切にし、子どもたちが希望のもてる我が町であってほしいと願っています。

し、100年以上に渡り発

議会のうごき

- 9月14日 井川町敬老式 (農村環境改善センター)
- 14日 第6回井川町議会運営委員会 (役場: 正副議長室)
- 14日 第6回井川町議会全員協議会 (役場: 大会議室)
- 26日 秋田県町村議会議員研修会 (秋田市: 秋田県市町村会館)
- 27日~28日 町村議会広報研修会 (東京都: 日経ホール)
- 10月10日 秋田県町村議会議長会 正副会長会議 (秋田市: 秋田県市町村会館)
- 16日 湖東厚生病院運営委員会 (五城目町: グリーンロイヤル丸富)
- 26日 南秋田郡町村議会議員大会 (五城目町: 五城館)
- 31日 議会だより編集方針検討会 (役場: 小会議室)
- 11月7日 第7回井川町議会全員協議会 (役場: 大会議室)
- 11日 ふるさと井川会 (東京都: 日本青年館)
- 20日 町内現地調査・意見交換 (町内・役場: 大会議室)
- 21日 知事と市町村議会議長との行政懇談会 (秋田市: 秋田県市町村会館)
- 27日 第7回井川町議会運営委員会 (役場: 正副議長室)
- 27日 第8回井川町議会全員協議会 (役場: 大会議室)
- 28日 県関係国会議員との懇談会 (東京都: グランドアーク半蔵門)
- 28日 議会だより編集委員会 (以降4回) (役場: 小会議室)
- 29日 第67回町村議会議長全国大会 (東京都: NHKホール)
- 12月1日 第8回井川町議会運営委員会 (役場: 正副議長室)
- 5日 第4回井川町議会定例会 (~8日) (役場: 議場)

編集後記

新年おめでとうございます。昨年(2023年)の議会だよりご愛読ありがとうございました。辰(龍)・竜としてとらえられますね。もともと「辰」というのは、草木が成長し、形が整った状態を表すとされていて、「動いて伸びる」とか「整」「伸びる」「登る」というイメージなので議会だより編集委員会として課題や困難を乗り越えて『読みたくなる』よりも『みたくなる』紙面を目標にアップデートして行きたいと思っております。

(三浦 成利 記)



- 発行責任者 遠藤 政勝
- 編集委員長 鷺谷 清利
- 副委員長 佐々木昌子
- 委員 石井 茂
- 委員 伊藤 俊郎
- 委員 三浦 成利
- 委員 高橋 剛

印刷/株八郎瀧印刷